

中学校国語科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	批判的・創造的な読みを中心とした言語活動の提案	
日 時	令和6年7月18日(木)	
会 場	札幌日本大学中学校	
講 師	江刺家 真 氏 (札幌日本大学中学校 教諭)	
参加者	18名	
研修会 の 様 子		札幌日本大学中学校の1年生の授業が2本公開されました。 小説「星の花が降るころに」の学習では、授業者の的確な説明、指示のもと、生徒が主体的に作品を読解していく授業でした。また、ペアや小グループを自由に設定し、生徒同士で課題の解決に向けて活発に対話する様子が印象的でした。
		授業後は講師であり公開授業の授業者でもある江刺家氏から、本時の授業のポイントについての説明がありました。その後は「生徒が主体となる授業の組み立て方」を討議の柱として、全体で意見等の交流を行いました。
		私立中学の生徒の様子、授業実践を間近に見ることができ、さらに今後の国語科の授業の在り方を参加者全員で協議、交流することができ、大変有意義な1日となりました。